

事故報告書(概要書)

第 報

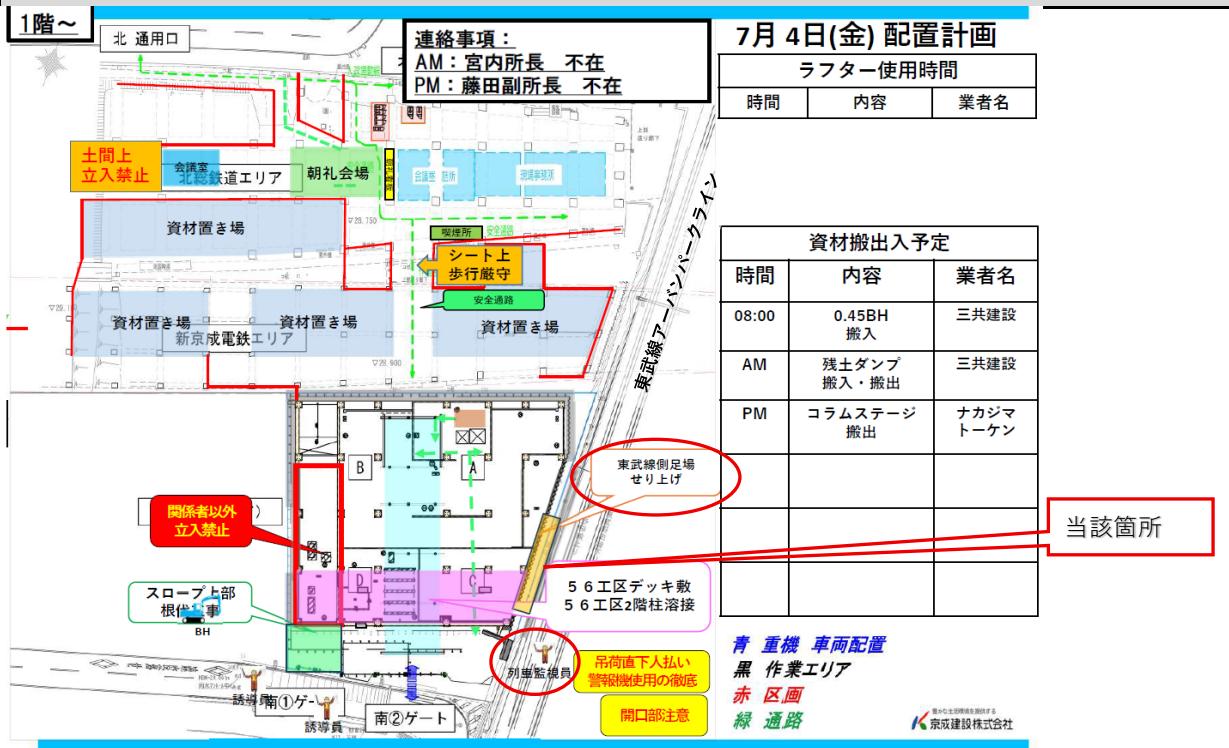
2025年7月4日

工事番号	23-1-0214		報告者	宮内 淳		
部門、部署	建築本部	第一工事部	現場責任者名	宮内 淳		
現場名称	(仮称)新鎌ヶ谷駅前計画(商業棟)					
被害者情報	氏名 ナカジマトケン(株) 足場作業員		年齢 歳	生年月日 年 月 日		
現住所			職種			連絡先
勤務先 (所属会社)	会社名		所在地			
	TEL		雇入年月日	満 年	年 月	日
契約関係	(一次) →(二次) →(三次)					
災害発生年月日時	2025年7月4日 11時35分頃					
傷害名			傷害・部位			
病院名			治療・休業・日数	休業日数		治療日数
災害発生の事実 確認者	氏名		所属会社			
災害発生の状況 (具体的に記入する)	・時系列で、事故発生の状況、警察・病院・監督署・発注者等への一次処置の内容 (いつ・どこで・なにが・どうして・どうなった)					
	日付	時間軸	報告内容			
	日	8:00	朝礼 作業内容・場所・人員・注意事項確認			
		8:10	KY活動実施			
		8:30	当該作業箇所(東武線側) 作業開始			
		:				
		11:35	事象発生 箕職長より担当者に連絡 電車に支障のないことを確認(田村)			
		11:40	担当者より宮内所長に報告			
		11:45	宮内より 東武鉄道 杉戸工務施設管理所 石元様へ連絡			
			事象説明し、来所頂く事になり作業中断し待機する様指示を受ける			
		11:53	高橋補佐・内田氏に連絡(不在)→折り返し連絡にて報告			
		11:58	東武 新鎌ヶ谷駅に連絡			
		14:30	石元氏現着、落下物を回収頂き、改めて状況説明 対策説明し再開の了承			
		14:45	安全作業周知会 入線時の作業停止、仮置き場所、巾木の設置を確認			
※特筆すべき事項を記載してください。						
・東武石元氏より、状況が分かったので、厳重注意として今回の件は終わる。注意して作業してくださいと言われた						
・開発事業部角課長より、報告書を送ること、東武への謝罪に行くので宮内所長・上席とも随行お願いするとの事						
処置 (連絡)	※社内周知及び必要に応じて実施した警察・監督署・発注者等への二次処置の内容					
	施主・顧客	京成電鉄(株)開発本部 角課長・高橋補佐				
	設計、監理者					
	所轄労基署	無し				
	社内	建築本部 鎌田部長				
労災成立番号						

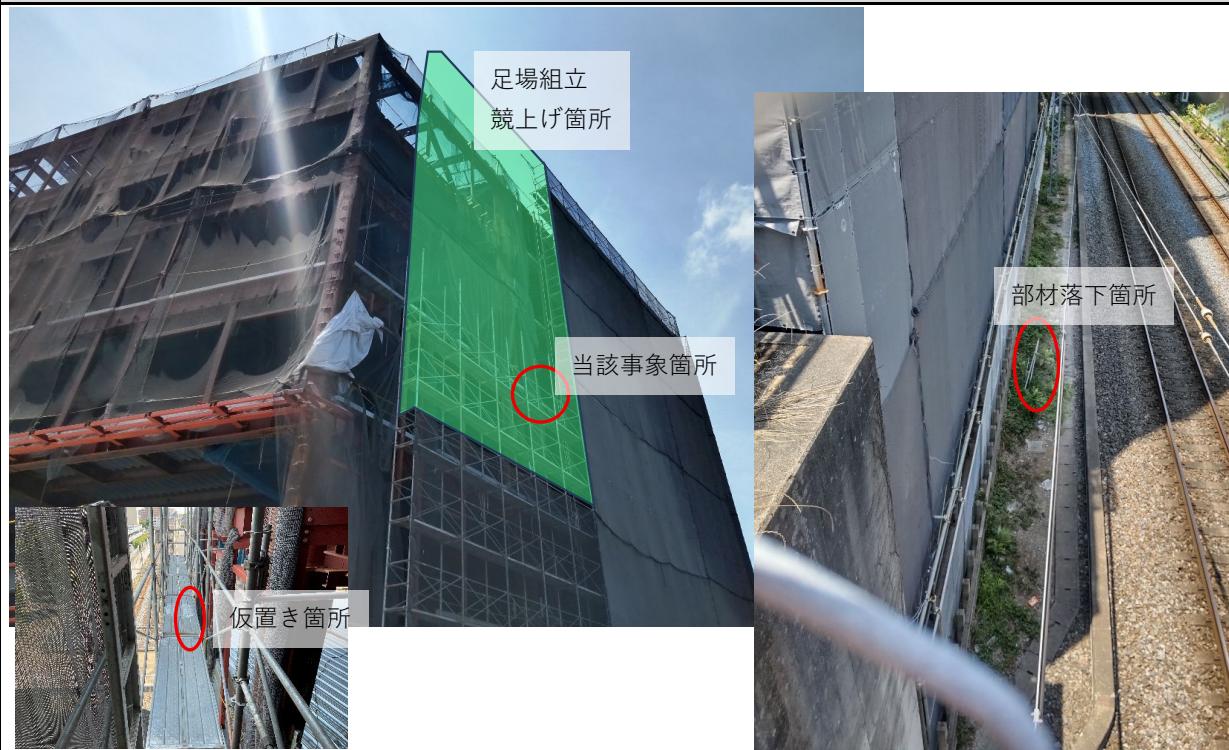
※ 連絡・報告については発注者、設計事務所、監督官庁(警察署、監督署、その他)等へは必要に応じて連絡すること。

(重大事故における被災者家族対応・マスク対応等については、原則、本社管理部門と相談のうえ実施すること。)

状況写真・図面等(1)

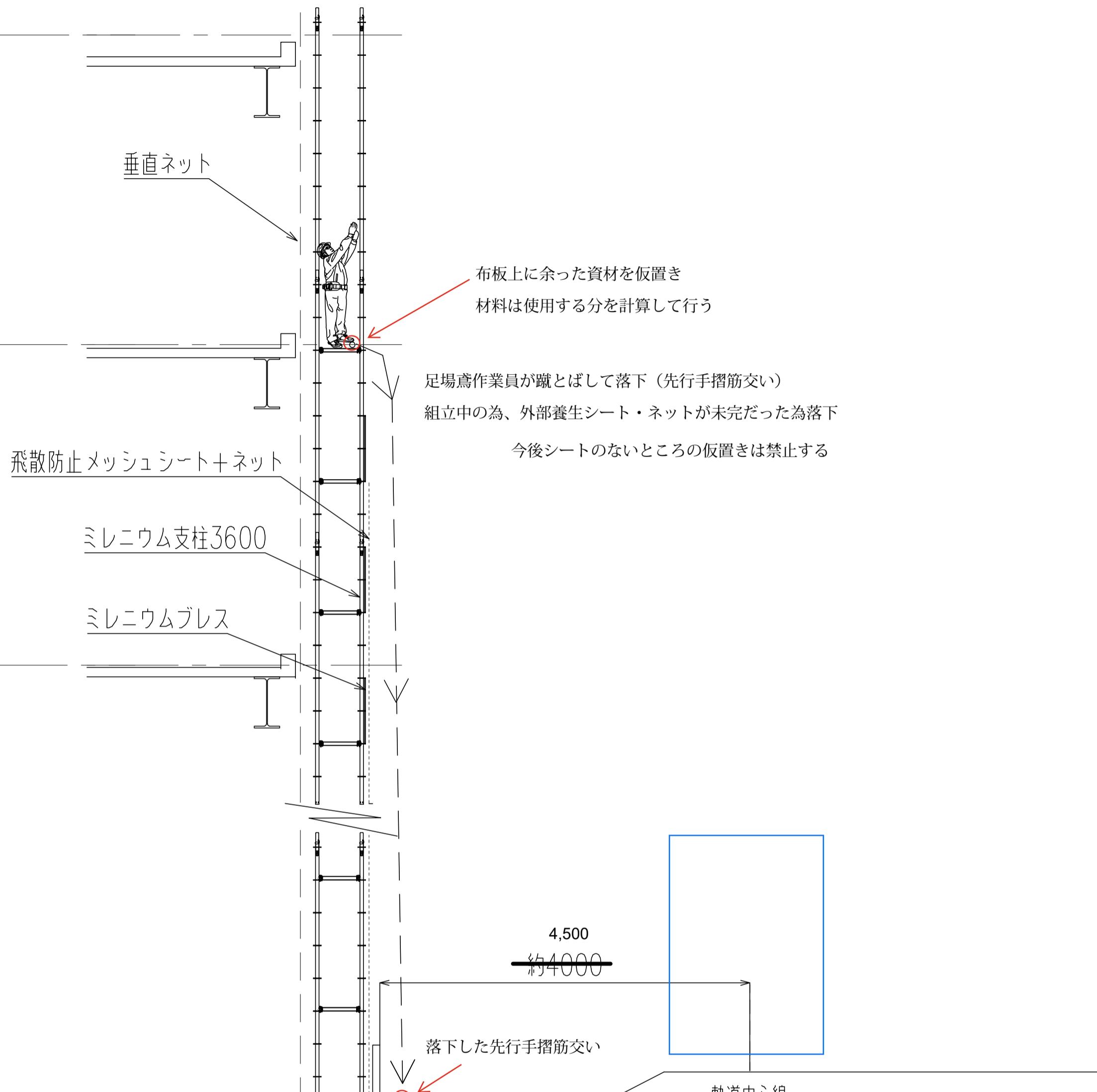


状況写真・図面等(2)



原因	・組立中のシートの無い状態の足場状況で、余った筋交い材を、布板(床)に結束をせず通路に仮置きし、作業員(足場組立鳶工)が足でつまづいてしまい、筋交い材を落下させた。
	・上記の通り、仮置き結束・不要なものを作業床に置くなどの作業手順の不履行があつた。
再発防止対策	・シートの完了していない作業床に足場材他物を置かない。
	・手順と共に使用数量を確認する、荷下ろしした材料の荷解き、仮置きを行う場所は組立が完了しメッシュ・ネットが完了している内側の部分とする。

事故状況図



対策平面図

